

コースタルメダルポテンシャルアスリート認定制度の導入について

中長期強化戦略に基づくコースタル種目の主要な施策の一つとして、以下のとおり「コースタルメダルポテンシャルアスリート (CMPA) 認定制度」の導入についてお知らせします。

ただし、制度初回であるため、1年目の結果（途中経緯）を確認し、継続可否及び制度変更の要否を協議するものとします。

1. 目的

日本ローイング協会の強化重点種目として設定されてきた「軽量級種目」が2028年ロサンゼルスオリンピックで廃止となった一方で、2023年10月に「コースタルローイング・ビーチスプリント競技」が正式種目として採用されました。「ビーチスプリント競技」は従来の競技（＝クラシックローイング）と多くの共通点は見られる一方で、オリンピックのメダルを獲得する実力を得るためには、ビーチスプリント競技に特化したスキルとチームワークを習得する必要があります。

世界各国では、ビーチスプリント専属の活動を行う国やチームは限定的ですが、日本でも「ビーチスプリント競技」を強化する環境やシステムは未だ確立されていません。今後、世界の強豪国が競技力強化を推進することが予測される中で、オリンピック選手候補の育成が急務な状況となっています。そのためには、クラシックローイングである一定以上の能力を示した選手からビーチスプリント競技に意欲のある選手を選抜し、継続的に強化するシステムを構築しなければなりません。

本制度はそのような選手を対象に一定期間にわたって継続な強化支援を行い、わが国の国際競争力向上につなげることを目的として導入を図るものであります。

2. CMPA 認定制度の内容

(1) 適用条件

- ・コースタル種目を最優先する意思があり、継続的な競技力強化を実現するためのユニット体制（コーチとハンドラー）を選手自身が自主自立的に構築できること

※コーチはコーチ4有資格者とする。アフターコロナの暫定措置として、2026年度までにコーチ4資格を取得することを条件にコーチ3有資格者も認めることとする。

※ハンドラーにはWRのジェンダー規定があり人材が限定されるので、2025年度は必須条件としない。

- ・ローイングエルゴメーターにおいて世界標準のタイムを突破すること
- ・水上評価において、コースタル艇で安定的に高い潛力を示すこと。

※ビーチスプリントはコンディション変化の影響が大きいため、水上評価の基準タイムは設定しない。
※2027年度以降は、WRBSFなど国内外で行われた大会やタイムトライアルの結果を水上評価として適用条件に含む可能性がある。

(2) 認定日

- ・原則毎年3月末日（理事会で決定）

※2025年度は評価日程がシーズンイン後となるので、理事会承認日を認定日とし、遡及認定は行わない。

(3) 認定期間

- ・原則認定日から2年間（2年後のコースタルローイング日本代表選考会まで）

※2025年度は理事会承認日の関係で期間短縮するが、その分の延長は行わない。

(4) 適用プログラム

- ① 強化方針に基づく海外、国内合宿および国際大会への派遣
- ② 選手が指名したコーチとハンドラーの技術・知見向上講習会（国内外）の実施

(5) ユニット（選手・コーチ・ハンドラー）負担金

- ① 国内合宿：1日あたり10,000円 / 一人あたり
- ② 海外合宿：1日あたり20,000円 / 一人あたり

(6) その他

練習状況、著しい成績不振、長期療養が必要な疾病や怪我などを理由としたコースタルローイング委員会の勧告により、理事会は認定を取り消すことができる。

(7) 適用時期

2025年度より適用する。

(8) 制度の点検

制度初回となるため、1年目の結果（途中経緯）を確認し、継続可否及び制度変更の要否を協議するものとする。検討対象は以下の通りとして、合目的性、目的に対する有効性、効率性等を理事会にて審議する。

- ・適用条件
- ・認定期間
- ・適用プログラム

以 上